



茲 =  $a, b, c$  ハ実常数ナリトスル。

此ノ定理ヲ利用スレバ、拋物線ノ特徴付ケトナル。

今変数軸 = 任意ノ二点  $A, B$  ヲ取り、夫々ノ座標ヲ

$A(x-y, 0), B(x+y, 0)$  トスル。  $AB$  ノ中点ヲ  $M$  ト

スレバ、ソノ座標ハ  $(x, 0)$  デアル。

$A, B, M$  = 於テ、夫々変数軸 = 垂線ヲ立テ、

之  $y = f(x)$  トノ交点ヲ夫々  $C, D, L$  トスル。

スルト  $\triangle CLD$  ノ面積ハ次式デ与ヘラレル。

$$\begin{aligned}\triangle CLD &= \frac{1}{2} \begin{vmatrix} x-y & f(x-y) & 1 \\ x & f(x) & 1 \\ x+y & f(x+y) & 1 \end{vmatrix} \\ &= \frac{1}{2} y \{ f(x+y) + f(x-y) - 2f(x) \}\end{aligned}$$

故 = 定理 1 ノ幾何学的ノ意義ハ次ノヤウニナル

$y = f(x)$  ガ  $-\infty < x < +\infty$  デ定義サレタ一價可測実数

値函数デ  $\square$  = 於テ  $\triangle CLD$  ノ面積ガ  $y$  ノミニノ函数ナラ

バ、換言スレバ區間ノ長さ (ニ平行線  $AC, BD$  ノ距離)

$\overline{AB}$  ノミニノ關係スルナラバ  $y = f(x)$  ハ ( $y$  軸ニ平行テ主

軸ヲ持ツ) 拋物線ヲ表ス。(当然ノ注意デアルガ

$a = 0$  ノトキハ直線トナルカラ、直線ヲ含メテ云フ

コト = スル)

## 2. 複素数 $z$ ノ絶対値 $|z|$ ノ特徴付ケ

筆者ハ本紙第257号1144(503P)ニ於テ $|z|$ ヲ特徴付ケタガ、次ニ別ナ方法デ $|z|$ ヲ特徴付ケテ見ヨウ。

**定理2**  $f(z)$ ガ複素数平面上 $|z| < +\infty$ デ定義サレタ一價実数值函数トシ、且ツ

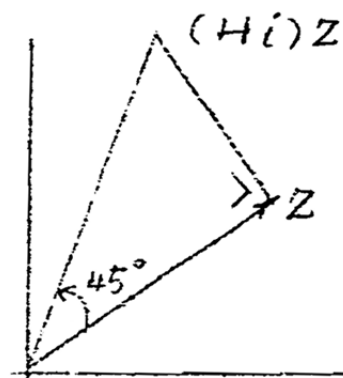
1°  $f(z) - |z|$ ハ原点デ全微分可能

2° 任意ノ $z =$ 對シ  $f\{(1+i)z\} = \sqrt{2} f(z)$

ヲ滿スナラバ  $f(z) = |z|$ デアアル。

ユノ定理ノ幾何学的意味ハ圖ヨリ明カデアラウ。

(証明)  $f(z)$ ハ実数值ヲ取ル故  $F(x, y) = f(z) - |z|$ トオケバ ( $z = x + iy$ )  $F(x, y)$ ハ実数值函数デ、假定2°ニ依リ、次ノ函数方程式ヲ満足サセル。



$$(1) F(x-y, x+y) = \sqrt{2} F(x, y)$$

(1)ニ於テ  $x=0, y=0$ トオケバ  $F(0,0) = 0$

又假定1°ニ依リ  $F(x, y)$ ハ原点ニ於テ全微分可能ナル故、(1)ヲ用キ簡單ナ計算ニ依リ

$$(2) \begin{cases} F_x(0,0) = 0 \\ F_y(0,0) = 0 \end{cases}$$

$F(x, y)$ ハ $(0,0)$ デ全微分可能ナル故

$$F(x, y) = F(0,0) + x F_x(0,0) + y F_y(0,0) + \varepsilon \sqrt{x^2 + y^2}$$

ト書ケル。茲ニ  $\lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \varepsilon = 0$ デアアル。

$F(0,0)=0$  と (2) を用いることは依り、結局

$$(3) \quad \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{F(x,y)}{\sqrt{x^2+y^2}} = 0$$

次 =

$$(4) \quad g(x,y) \begin{cases} = \frac{F(x,y)}{\sqrt{x^2+y^2}} & \text{for } (x,y) \neq (0,0) \\ = 0 & \text{for } (x,y) = (0,0) \end{cases}$$

ナルヤウ函数  $g(x,y)$  を考へれば (4) = 依り  $(x,y) \neq (0,0)$  デアツテモ  $(x,y) = (0,0)$  デアツテモ  $g(x,y)$  ハ次ノ函数方程式ヲ満足サセル。

$$(5) \quad g(x-y, x+y) = g(x,y)$$

且ツ (3) = ヲリ

$$(6) \quad \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} g(x,y) = 0$$

(5) = 於テ、 $x, y$  1 代リ = 夫々  $x-y, x+y$  トオケバ

$$g(-2y, 2x) = g(x-y, x+y)$$

上式ト (5) トヨリ

$$(7) \quad g(-2y, 2x) = g(x,y)$$

(7)ノ關係ヲ用キレバ

$$g(-4x, -4y) = g(-2y, 2x)$$

上式ト (7) ト = ヲリ

$$(8) \quad g(x,y) = g(-4x, -4y)$$

(8) 関係ヲ用キレバ

$$g(-4x, -4y) = g(16x, 16y)$$

上式ト(8)トニヨリ

$$g(x, y) = g(16x, 16y)$$

上式ニ於テ  $x, y$  ノ代リニ夫又  $\frac{x}{16}, \frac{y}{16}$  トオケバ

$$g(x, y) = g\left(\frac{x}{16}, \frac{y}{16}\right)$$

之ヨリ、任意ノ自然数  $n$  ニ對シ

$$g(x, y) = g\left(\frac{x}{16^n}, \frac{y}{16^n}\right)$$

ユ、デ、 $n \rightarrow +\infty$  ナラシムレバ (6) ニヨリ右辺  $\rightarrow 0$

トナルカラ  $g(x, y) \equiv 0$

故ニ (4) ニヨリ  $(x, y) \neq (0, 0)$  ナラバ  $F(x, y) \equiv 0$

又  $F(0, 0) = 0$  ナル故 結局  $F(x, y) \equiv 0$

又定義ニヨリ  $F(x, y) = f(z) - |z|$  ナル故

$$f(z) = |z| \quad (\text{証明了})$$

§ 3. 筆者ハ本紙第 262 号 1170 (94P-95P) ニテ  
次ノ定理ヲ証明シタ。

**定理**  $f(x)$  ヲ  $x > 0$  デ定義サレタ一價実数值函数

トスルトキ  $f(\alpha x) = f(x)$  ( $\alpha > 0$ ) ヲ  $f(x)$  ガ

満足スルナラバ

$$f(x) = g(\log x)$$

デアル。茲ニ  $g(x)$  ハ  $-\infty < x < +\infty$  ニテ定義サレ

ター價實數値函数デ  $\log \alpha$  ヲ週期トスル任意ノ週期函数ナリトスル。

之ヲ用キテ次ノ定理ヲ証明シヤウ。

**定理** 3.  $f(x)$  ヲ  $x > 0$  デ定義サレター價實數値函数トスルトキ  $f(\alpha x) = \alpha f(x)$  ( $\alpha > 0$ ) ナラバ

$$f(x) = xg(\log x)$$

デアル。茲ニ  $g(x)$  ハ  $-\infty < x < +\infty$  ニテ定義サレター價實數値函数デ  $\log \alpha$  ヲ週期トスル任意ノ週期函数ナリトスル。

(証明)  $F(x) = \frac{f(x)}{x}$  トオケバ  $F(x)$  ハ  $x > 0$  デ定義サレター價實數値函数デ  $f(\alpha x) = \alpha f(x)$  ナルコトカラ  $F(x)$  ハ  $x > 0$  デ  $F(\alpha x) = F(x)$  ヲ充ス。

之カラ先ハ前定理ニ依レバヨイ。

(完)